



宇津峰 2014



学校内の草花(2月)

【教育目標】 健康(心身を鍛え根気強い生徒) 友愛(親切で協力する生徒) 進取(すすんで学び合う生徒)

ごあいさつ

- 春はもうすぐ -

保健室前の花壇にオオイヌノグリがさいています。寒さの中にも日中は気温がだいぶ緩み、春が近いことを感じます。さて、平成26年度の教育活動もいよいよ大詰めとなってきました。10日余り後には、3年生が義務教育9年間の学業を終え、本校を巣立っていきます。学校では、卒業式の練習や生徒会による3年生を送る会の準備も始まりました。

期選抜試験の各高等学校の受験者数、受験倍率も発表となりました。これから試験に臨む3年生には、自分を信じ、やってもらいしかありません。また、1,2年生も、近い将来自分が受験生になるということを忘れず、今回の発表をよく見て将来の青写真を描いてほしいと思っています。

保護者、地域の皆さまのさらなるご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。(須賀川市立小塩江中学校長 菅野 哲哉)



今年度最後の

授業参観

お忙しい中、おいでいただきありがとうございました。お子さまの様子はいかがでしたか?当日は学年懇談会、さらには急遽、新体育館見学ツアーも開催しました。最後までご参加いただきありがとうございました。また、校長室で学校評議員会も開催し、教育活動に対して学校評議員の皆様からあたたかい励ましのお言葉をいただきました。

※ 文中のコメントは参観した校長の感想です。

1年



<数学> 「資料の散らばりと代表値」
「仮の平均値」や「階級値」を使って平均値を求めました。集中し、夢中になって問題に取り組む姿やよく聞こうとする姿から1年生のこの一年間の成長を感じました。すばらしい。(〇)

2年



<社会> 「開国と近代日本の歩み」
「大日本帝国憲法の特徴を知ろう」と官報を資料に内容を読み取り、まとめていきました。子どもの力はすごい!みんなで、分からないことを分かるようにと知恵を出し合い乗り越えようとしていました。(〇)

3年

義務教育最後の授業参観は、大好きな理科!いい顔いっぱい3年生(^o^)



<理科> 「科学技術の発展」
「これまでの発熱作用の知識を生かし、ガスバーナーは使わずに違う方法で水を60℃のお湯にする」という教師の提案に子どもたちがチャレンジしました。電気の発熱作用を用いたり、別の熱源を用いたりして子どもたちは苦労して水を温めていました。一人一人がよい顔をして学ぶと同時に、友達と真剣に学び合う姿も見られました。義務教育での参観日はこれが最後です。3年生のみなさん、立派に成長しうれしいです!(^o^)

ユネスコ平和作文表彰式 大河内望未さん(1年) 特別賞(須賀川市教育委員会教育長賞)受賞 他に3名も同時入選

<特別賞> (須賀川市教育委員会教育長賞) 大河内望未さん(1年)
<優秀賞> 渡邊咲良さん(1年) <優良賞> 橋本侑香さん(2年) 大槻千明さん(1年)

今年で第30回目となるユネスコ平和作文コンクール、応募総数2,137点の中から審査の結果、上記のとおり、本校から大河内望未さん(1年)の作文が特別賞を、渡邊咲良さん(1年)の作文が優秀賞を、橋本侑香さん(2年) 大槻千明さん(1年)の作文が優良賞を受賞しました。今回、大河内さんが受賞した賞は、実質5位にあたります。



2月19日(木)、須賀川市中央公民館において開催された表彰式では、大河内さんに若林秀樹須賀川市教育委員会教育部長より表彰状が伝達されました。堂々と表彰状を受け取る大河内さんの姿はとて立派でした。講評の先生からは、「地域を大事にし、活性化を図ろうとするとともに、世界にも目を向け地域のよさを伝えながら世界平和を自分なりの視点で気付いていこうとしている考えが伝わってくる作文です」と称賛の言葉をもらいました。



大河内さんは作文に「生まれた小塩江で暮らせていることがうれしい。人数が少ない地域だからこそ交流できる場が多いので、(この地域で暮らせていることを誇りに)一日一日を大切にしていきたい」と綴っています。小塩江を愛する気持ちがよく伝わって来ると同時に、小塩江にこういう気持ちを持った子どもたちが育っていることが、小塩江のよさであり、財産だと思います。



それにしても、自分の気持ちを素直に、しかも論を立てながら作文に書けることってすごい才能だと思います。これからもますますの活躍を期待しています。4名の皆さん、受賞おめでとう。

「地域から世界につなげる」

1年 大河内 望未

私の地域では毎年、十一月三日に伝統の祭りが行なわれている。それは神社の中で奉納される浦安の舞である。わずか十五分ほどの舞だが、その中で、扇、鈴の舞を奉納する。この舞は、今年一年の豊作や家内安全、無病息災を祈る行事として毎年行なわれている。地域の人たちは、このような舞を奉納できることに誇りを持っている。



この他にも代々受け継がれてきたことがある。それは、太郎石、次郎石の持ち上げ大会である。今年も小学校からお年寄りまでが参加した。百キログラムの太郎石と四十キログラムの次郎石をどれだけ高く持ち上げられるかを競う競争だ。その大会に出場した人の中で私がびっくりした方がいる。その方は、この神社の近くで農業をしている七十五歳のおばあちゃんだった。このおばあちゃんは四十キログラムの次郎石を自分の顔の高さまで持ち上げた。周りからも歓声があがっていた。大会終了後に、テレビ局の方がおばあちゃんにインタビューしていた。「なんでこんなに持ち上げられるんですか。」という質問に対しておばあちゃんは「毎日畑仕事をしているからだね。」と答えた。私は、七十五歳で元気に生活できることがすごいと思った。

私の住んでいる地域は小さく、少人数だが、こんなにもみんなで協力し、楽しく交流できることは素晴らしいことだと思う。小学生はみんなでみこしをかつぎ、地域を回る。笛の音をもとに「ピッピワッショイ。ピッピワッショイ。」と元気な声を神社の中まで届けてくれている。一人一人が自分なりの地域に対する気持ちを持っている。この声の一つの大きな輪となって、地域の活性化につながることだろう。

浦安の舞、太郎石と次郎石の持ち上げ大会、みこしを守り続けていくとともに小塩江の未来についても考えてみる。

まず一つめは、小塩江のよい所を世界中に発信していきたいと考える。私たちの住んでいる地域は、世界から見たら本当に小さいけれど何かできることはあるはずだ。例えば、内戦が起こっているシリアやナイジェリアの人々に、「戦争はやめよう。」と呼びかけられないだろうか。私が通っている小塩江中学校でもホームページがあり、学校の様子を全世界に発信している。このホームページを使って平和な世界を作るために必要なことを伝えたいと思う。

また、私たちが住んでいる地域は少子高齢化が進んでいると言える。子どもたちが少ない中で、子どもたちがメインとなる行事を行なうことができるのは恵まれていると思う。地域の人々と交流する楽しさ、うれしさをインターネットなどをとおして伝えたいと思う。配信サイトなどでは、今、イスラム教の人質事件が注目を集めているが、見た人によっては「私もやってみよう。」などと思い、悪い方向へ進んでいってしまう可能性もある。そこで、私たちの地域の活動を配信することで事件が起こりにくくなることもあるだろう。平和な世界につながるメッセージをどんどん発信することは、小さいことかもしれない。しかし、継続していくことで大きな力になるのだ。

私は、生まれてきたこの地域で暮らせていることがうれしい。人数が少ない地域だからこそ交流できる場が多いので、一日一日を大切にしていきたい。そして、長年受け継がれてきた伝統文化を守り、次の世代につなげられるように努力したい。すべては世界平和を築いていくために。

卒業証書授与式の練習始まる

最高の姿で！
羽ばたけ3年生15名!!

3年生は卒業まであと10日余りとなりました。学校では卒業証書授与式に向けた全体練習が始まりました。

すでに気持ちができあがっている3年生。学級で練習してきたこともあり、さながら本番のような雰囲気も感じさせられます。さすが卒業生！これから、練習を重ねるごとに、さらに子どもの顔はいい顔に変わっていきます。



臨む態度は真剣そのもの

卒業式は本来、門出を祝福するうれしい行事のはずですが、力いっぱい頑張ってくれた3年生の姿を思い出すとやっぱり寂しさも感じてしまいます。在校生も職員も一丸となって、卒業生15名それぞれが一生涯に残る、いい卒業証書授与式にしてあげたいです。

ご厚意に甘えて急遽結成！PTA新体育館視察団!(^~^)

「新体育館の様子が見たい」という絶大な希望にお応えし、参観日当日 PTAの希望者の皆さんが、にわか(^o^))視察団結成、体育館の工事の進捗状況を見てきました。内装工事まった中の体育館内部は足場だらけ。とても驚きました。たくさん質問し、そしてたくさん展望(?)もしてきました。



大興奮の視察団一行

現在屋根ができあがり、完成は3月末。楽しみです。学校では、新体育館で入学式が行えるよう調整を進めています。急なお願ひにもかわらず、内部を快く見せてくださいました三柏工業様に感謝いたします。